



令和7年度 「いじめ・暴力ゼロ」の取組



丹波市立青垣中学校

今年度の生徒会スローガンは「笑真 ~Colorful & No limit~」とし、このスローガンに向かって様々な生徒会行事や学校生活で取組を進めてきた。このスローガンには、全校生が笑顔で過ごそう、自分の個性を伸ばし、限界突破しようという意味が込められている。誰もが楽しく学校生活を送れるように、生徒会本部役員が中心となり活動してきた。青垣中学校で大切にしている重点課題が、いじめ・暴力ゼロにつながると感じている。

5つの重点課題	具体的な取り組み	成果と課題
人・もの・時間を大切にす	人が話しているときに反応をする、相手を思いやった行動をする、物を大切にすして誰もが過ごしやすい居場所を作る、時間を守る	○「~しましょう」と言われたときに、返事がしっかりとできていた。話す側も、反応を意識した話し方ができていた。 ○休み時間に次の時間の準備をしたり、1分前着席を心がけたりできた。 ●自分の持ち物に名前が書けていないことが多かった。
青中ネット憲章を大切にす	昨年度のネット憲章を見直し、今年度改正した。特に、対面でのコミュニケーションを大切にしようと呼びかけた。	○ネット憲章を各クラスや生徒会黒板に掲示して、意識できるようにした。 ●ネット憲章が守れているか、生徒会として確認する場を持てなかった。
他の委員会と連携する	全校生として取り組むために、生徒会本部が主導して、全員で活動することを意識する。	○式の前の校歌練習や、体育大会中の駆け足練習など、生徒主導での活動ができた。
意見交流を活発にする	誰もが自分の意見を言いやすくする雰囲気が、いじめ・暴力ゼロにするためには必要。そのために、普段からの意見交流を大切にす。	○話法を活用して、活発に話し合いができるようになってきている。 ●まだ発表する人が限られているので、雰囲気づくりが必要。
正しいことが認められる集団	間違っことはきちんと指摘し、正しいことが認められる集団にしていく。	○注意に対して素直に聞ける人が増えている。 ○いろいろなところで注意し合える集団が増えている。

普段の生活から、いじめをしない・させない・見逃さないことを大切にすしてきた。そのための具体的な行動が、上記の重点課題である。その他に、実行委員会で作成したポスター掲示、放送での呼びかけも2学期に行った。また、学年集会や全校集会での意見交流を行い、全員で考え、発表することで共有してきた。青垣中学校のいいところは、「人・もの・時間」を大切にできる場所であると、生徒会本部では考えている。これからも、周りをよく見て行動し、誰もが過ごしやすい学校づくりを生徒会中心に進めていきたい。